

## 【令和6年度 安全指導教育研修計画表】

五稜バス 成田空港営業所  
五稜バス 東京町田営業所

指導主任者：相馬健一・山田 将吾・大竹舞・寺島正

実施期間	法令等で定める事項 (国土交通省告示1676号)	実施形態	自社で定める事項
04月01日 ～ 04月30日	<b>1. 事業用自動車を運転する場合の心構え</b> ①バス事業の公共性と重要性 ②旅客自動車運送事業の社会的使命とその影響 (交通事故統計使用) ③安全運行の心構え	eラーニング タブレット端末使用	春の全国交通安全運動 (4/6～4/15)
05月01日 ～ 05月31日	<b>2. バスの運行の安全、乗客の安全を確保するために遵守すべきこと</b> ①バス運行に係る法令 ②義務を果たさない場合の影響の把握 ③運転者が遵守すべきこと (日常点検・運転姿勢) ④事故の影響 (事業者・運転者への処分、加害者や被害者への心理的影響)	eラーニング タブレット端末使用	
06月01日 ～ 06月30日	<b>3. バスの構造上の特性</b> ①バスの特性に合わせた運転 (遮光・視野・死角・内輪差・制動距離) ②多様化する車両に合わせた運転	eラーニング タブレット端末使用	熱中症予防対策の指導
07月01日 ～ 07月31日	<b>4. 乗車中の旅客の安全を確保するために留意すべき事項</b> ①『急』の付く運転はしない ②シートベルト着用の徹底を図る ③安全な速度と十分な車間距離を保つ ④旅客の状況を確認する ⑤シートベルト着用の徹底を図る ⑥走行中の運転への集中	eラーニング タブレット端末使用	夏の交通安全運動 (7/13～7/22)
08月01日 ～ 08月31日	<b>5. 旅客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項</b> ①乗降時の乗客の安全の確保 ②高齢者・障害者などの乗降時の安全の確保	eラーニング タブレット端末使用	夏休み中の子供事故防止対策
09月01日 ～ 09月30日	<b>6. 運行路線・経路における道路及び交通の状況</b> ①運行路線・経路における道路・交通情報の把握 ②情報に基づく安全運行のための留意点 (『ヒヤリ・ハット』の活用)	eラーニング タブレット端末使用	無事故表彰 秋の全国交通安全運動 (9/21～9/30)
10月01日 ～ 10月31日	<b>7. 危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法</b> ①危険予測運転の必要性 ②危険予測のポイント (危険回避への注意喚起・指差呼称) ③危険予知訓練・指差呼称及び安全呼称 ④緊急時における対処方法	eラーニング タブレット端末使用	内部監査
11月01日 ～ 11月30日	<b>8. 運転者の運転適性に応じた安全運転</b> ①適性診断その他の方法による診断の必要性 ②診断結果の活用 (運転者の運転適正の把握・運転者自身へ運転行動を自覚させる) ③運転者のストレス等の心身の状態に配慮した適切な指導	eラーニング タブレット端末使用	事故防止委員会・安全対策委員会 冬の交通安全運動 (11/13～11/22)
12月01日 ～ 12月31日	<b>9. 交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因とこれらへの対処方法</b> ①身体に与える影響 (眼気) 生理的要因 (過労・睡眠不足・医薬品・飲酒) の理解 ②身体に与える影響 (集中力の欠如) 心理的要因 (慣れ・過信) の理解 ③運転者への勤務時間及び乗務時間の理解 ④乗務中に疲労や眠気を感じた場合の対処法・報告の徹底及び飲酒運転・薬物使用の禁止	eラーニング タブレット端末使用	年末の交通事故防止運動 飲酒運転根絶運動・年末年始安全総点検 雪山チェーン装着研修 急ブレーキ・急ハンドル想定訓練
01月01日 ～ 01月31日	<b>10. 健康管理の重要性</b> ①健康起因事故と健康管理の必要性 ②生活習慣の改善指導 (健康管理のポイント) ③心理的な負担の程度を把握するための検査の活用 ④運転者自身が心身の健康管理を行うことへの重要性の理解	eラーニング タブレット端末使用	バスジャック対応訓練
02月01日 ～ 02月28日	<b>11. 安全性の向上を図るための装置をバスの適切な運転方法</b> ①ブレーキ制御を行う装置の理解 ②ハンドル操作を支援する装置の理解 ③車両姿勢を維持する装置の理解 ④装置機能への過信及び誤った使用方法が交通事故の要因となりうることへの説明と適切な運転方法の理解	eラーニング タブレット端末使用 車両取扱説明書	ASV・VSC・PCS・ACC車両別の知識理解
03月01日 ～ 03月31日	<b>12. ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の運転特性に応じた安全運転</b> ①運転者からの『ヒヤリ・ハット』報告に基づき、実際の運行映像による指導 ②NASVA教材映像による指導  <b>13. 非常用信号用具、非常口、消化器の取扱い</b> 避難訓練 (非常口の開閉、発煙筒・消火器・三角表示板など実物での研修) 事故防止委員会・安全対策委員会(3月下旬) 他モードの安全啓発研修  ・労働基準法・改善基準告示の改善点の教育	eラーニング タブレット端末使用 PC使用	ドライブレコーダーの記録を活用したヒヤリハット共有  ・乗務員接客講座【基礎編】 「貸切バス乗務員のための接客4つの心得」  ・車両内消化器、発煙筒、三角表示板の位置確認
適宜実施	ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の運転特性に応じた安全運転指導	個別指導 (PC使用)	

\*法令等で定める事項は、平成30年6月1改訂の「自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う一般的な指導及び監督の実施マニュアル」に基づく。